



国際ロータリー第2500地区第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

旭川モーニングロータリークラブ会報



ホームページ

<http://www.asahikawamrc.com/>

第1125回例会 № 39

5月の月間テーマ

青少年奉仕月間

平成29年5月11日（木） AM7:30~8:30

本日の例会プログラム

クラブ協議会④ 次年度に向けて

場所 アートホテル旭川 15F MINORI

会長の時間

日本の商人道とロータリー理念（1）

河崎 高麗男 会長



ロータリーでは「奉仕」と「親睦」が大事だ、とはよく言われることですが「奉仕」の原語"Service"や「親睦」の原語"Fellowship"の意味を捉えないとロータリーは理解できません。ロータリーは20世紀初頭の自由主義経済が沸騰し、小恐慌が繰り返される景気変動の激しい時代に米国のシカゴで誕生しましたので、当然そうした時代背景や米国の文化的・宗教的・思想的背景を踏まえて理解する必要があります。

* ロータリーのサービス理念 『奉仕の理想』

「超我の奉仕」「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」（二つのモットー）

サービスを自己の利益や都合より優先させよう。利益はサービスの結果である。相手のために最善のサービスをすれば、結果として最大の金銭的な利益と大きな精神的満足が得られ、自分も幸せになる。サービスとは世のため人のために尽くすこと、社会に役立つ価値を提供する事とされています。

私も日本の思想家・宗教家や経済人の言葉、また古くから伝わる商家の家訓などの中に「ロータリーと同じことを言っている」と感じるものが多々あります。これは、世界思想の中におけるロータリー理念の普遍性や「正しい生き方」「善き生き方」に対する世界共通の考え方を示しているのではないかとと思われるのです。そういう観点から、日本の商人道の中からロータリー理念と通じると考える事例をいくつかご紹介します。

近江商人の「三方よし（売手よし・買手よし・世間よし）」、この言葉の出典は定かではありませんが、近江商人の心構え・行動規範を後世、要約したもののようなものです。近年、CSR（企業の社会的責任）論の文脈で先駆的事例として引用されることが非常に多くなっています。2500地区濱口職業奉仕委員長はこの三方よしを強調されています。三方よしの中でも「世間よし」は、国（藩）を超えて他国に行商し出店しようとする近江商人が、それぞれの土地（村や町など）で信用を築かなければ継続的な取引ができなかったことを示しています。これはロータリーの職業奉仕の原点でありましょう。

また、「先用後利・先義後利」という言葉があります。似たような商いで置き薬の行商、越中富山の薬売りが有名です。そのスローガンが『先用後利』です。先に商品を提供して代金は後で回収する仕組みを言いますが、江戸時代は今のよう交通網が整備されていないのでスタッフがきめ細かく客先を訪問するなんてことはできません。また、薬は今と違って大変高価なものであり、各家庭に様々な種類の薬を常備しておくことは困難でありました。

そこで登場するのが富山の薬売りです。「後払いでOK」と各家庭に薬を置いて回った。そこには、売る側と顧客との相互信頼が必要となります。モノ（薬）を売るだけでなく、健康などの相談に乗ったり行商各地の話題を紹介したりすることで、顧客との関係を築き上げていくわけです。

このような活動を通して収集した情報は、元締め「懸場帳（かけばちょう）」に事細かく記入され顧客の実態に基づいた需要予測や適切な商品（薬）を提供しました。現代の顧客別管理の先駆けといえるのではないのでしょうか。

このように、ビジネスモデルとしても大変先進的ですが『先用後利』、先に使っていただいて後から利益をいただくという考え方が顧客との持続的な信頼関係をもたらしたといえます。

来週は『先義後利』について紹介したいと思います。

第1125回例会 会務報告 笹川 和廣 副幹事



- 1) 西川旭川市長より「ごみのポイ捨て禁止運動 春季街頭啓発及びごみ拾い実践活動」に参加・協力の礼状 收受。

ニコニコボックス ご芳志者名簿 親睦委員会 木村 和哉 委員長



河崎 高麗男 会員

先週、ネームプレートが私の胸にピッタリと張り付き、自宅にてゆっくりとゴールデンウィークを過ごさせて頂きました。

5月11日 1件 2,000円 2016~2017年ニコニコボックス 累計金額 295,000円

モーニングRC 出席報告 安井 裕子 会員



* 本日の出席 第1125回例会 総員 26名
5月11日 出席 19名 出席率 73.08%

* 修正出席 第1123回例会 総員 26名
4月20日 修正出席 22名 修正出席率 84.62%

* 修正出席 第1124回例会 総員 26名
4月27日 修正出席 22名 修正出席率 84.62%

* ビジター ございません

* メークアップ

5月1日 武田昭宏 (旭川南RC)

5月11日 小川伸治・井上雄樹 (旭川東北RC)

次年度に向けて クラブ運営委員会 安井 裕子 会員

「行動しよう、未来のクラブの為に」

今年度冒頭に会長が掲げられたテーマから川崎年度が始まりました。会員一人ひとりが自由な発想を持って充実した委員の取り組み、そして会員の役割発揮を期待します。と掲げています。

*** 例会運営委員会**：妹尾委員長 井上会員

- ① 4つのテスト唱和から始まるさわやかな例会を継続しています。
- ② ゲストスピーチ 計5回の開催 4回終了
- ③ 出席率 80%台維持
- ④ 例会出席率向上とメイクアップの励行実施

*** 親睦委員会**：木村委員長 竹村会員 宮永会員 大久保会員 林会員 飯塚会員 坂本会員 今井会員 佐々木会員 小林会員

- ① 紅葉会、クリスマスファミリーパーティー、観桜会を企画、進行
- ② 毎月の誕生会お祝い
- ③ 入会の若い会員の交流、親睦に広く協力強化
- ④ 毎例会受付を行い元気に会員を向かい入れる。

木村委員長曰く川崎会長のもと、会員が気軽に交流が出来るような活動を目指したい。また「親睦とはなんぞや」をモットーにしています。と掲げています。

例会に於いてのゲストスピーチも多回数開催出来、教養を深める事が出来ました。小川幹事と連携しクラブ運営、例会スケジュール計画を立て実行致しました。全体に非常に活発に活動して参りました。

親睦委員の皆さんには大イベントの準備、進行、そして毎例会の受付の際には常に笑顔でさわやかな対応を有難う御座います。感謝いたします。

クラブ管理運営委員会、次年度引継ぎと致しましては、例会スケジュールに注視頂きたいと思えます。出席率向上の工夫を期待します。親睦委員は例年通りイベントにてクラブ会員の親睦を深めて下さい。なお、次年度委員会構成は親睦委員が少数のためイベント等の際には親睦委員より指示を貰い全員でお手伝い頂きたく御願いたします。

より為になり、より楽しく、何よりクラブ最大の目的としての親睦と奉仕、充実した例会、そして季節毎のイベントを通してさらにクラブ管理委員にて活発な活動を御願いたします。

今年度実施報告、引継事項 会員組織委員会 高見 一典 会員

会員増強委員会（福居委員長）におきましては、事業年度開始から当ホテル勤務の小林氏が新たに加入されました。しかし、残念ながら脇坂会員が途中退会されたこともあり総会会員数の増減無しという状況です。

なお、5月25日（木）の観桜会では、6月から新会員として加入予定の渡辺氏が参加されます。次年度におきましては退会者を出さないように努めながら30名以上を目標にして頂ければと思います。

会員研修委員会（笹川委員長）では、前期後期に各々1回ずつ計画通り行い、実のある有意義な研修を実施させて頂きました。次年度におきましても最低2回の研修会を実施して頂ければと思います。

広報委員会の振返りとご報告 広報委員会 小柳 裕子 会員

今年度より大委員会としてスタート致しました広報委員会ですが、嵯城さん、坂本さん、今井さん、飯塚さん、と才能豊かな方々が、会員皆様のご協力のお陰もありまして名に相応しい大きな実績を上げて下さったと私は思っております。

毎回の会報（写真・原稿集め・構成とネットへの更新、そして印刷）大変だったと思います。それから毎月の愛ロータリー、皆さんより一足先に目を通して読みどころをピックアップする。私事ですが以前はロータリーの友・ガバナー月信は頂いたらそのまま開かないで引き出しへ・・・という事も多々ありましたが、今年度は薦め上手に誘われて毎回目を通したのは私ばかりではないと確信しております。

そしてマイロータリーの登録。全員登録を目標にして参りました年度始めは9名で現在18名となりました。まだ一か月半有りますのでまだの方はどうぞお急ぎ宜しくお願い致します。

ホームページの内容充実という事で入会案内を載せたら良いのではと委員会の中では話しておりましたが、いま細則変更で入会金の取り扱いなど変更になるかも知れませんがこの件に関しては是非とも次年度、理事の方とご検討頂ければと思います。

ヤマベの放流ではメディア機関を通してロータリーのボランティア活動を発信することが出来ました。その時に作りましたピンクのモーニングのジャンパーは視覚的にもインパクトがあり、ごみのポイ捨て禁止運動でも着用してクラブをアピールして参りました。このピンクのジャンパー・のぼり作成等で私達、広報委員会は4、5回委員会を開きました。広報委員会はチームワークの良さでこの1年を乗り切ろうとしております。

委員会のメンバーと会員の皆様に感謝してご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

ロータリー財団・米山推進委員会 宮永 憲一 会員

今年度は、ロータリー財団・米山推進委員長の立場ながら私の入院や業務のため、活動できなかったこと大変申し訳ありませんでした。

そんな中、米山記念奨学会委員長の竹村委員長はじめ委員の大久保会員、飯塚会員、ロータリー財団委員会 脇坂委員長はじめ、小柳会員、木村会員、皆様にご理解とご協力をいただき、支えていただきましたこと改めて感謝いたします。

10月の米山推進月間では竹村委員長によるスピーチをいただき、11月の財団月間には脇坂委員長がスピーチをいただきました。この各委員長のスピーチでクラブ会員皆様にご理解いただいたおかげで会員全員よりご寄付賜りました。会員皆様ご協力いただきまして深く感謝申し上げます。

次年度はロータリー財団委員長を拝命しております、引き続き努力してまいりますのでご指導賜りますようお願い申し上げます。特に、海外の水環境支援事業は、会員皆様にもご理解をいただけるよう努めてまいりたいと思っております。

奉仕プロジェクト委員会 石川 千賀男 会員



今年度の総体目標は「経済と地域社会の発展」に注目し、第3分区一体としてプロジェクトの企画を立案し、実行に向けた議論を踏まえることとしました。

旭川空港を「花園空港」にする運動を試みましたが、会長幹事会では厳しい結果となり、関係諸官庁とのすり合わせも途中で終わりました。

今後旭川空港の民営化等の課題もあり、国際ターミナル棟の完成（平成30年9月）の状況を考慮し、再度議論を踏まえたうえで上川管内全体の観光協会等が中心となったほうが市民運動に発展するのではないかと考えます。

職業奉仕委員会：井上雄樹委員長

1月26日 11：00 株式会社匠工芸

・家具ができるまでの工程とバイオマスボイラーを採用し、木屑の再利用など素晴らしい工場を見学、職場訪問。そして何よりも桑原さんの手打ちそばと、おいしいコーヒーを頂く。

社会奉仕委員会：武田昭宏委員長

8月20日 「清流」自然と魚のふれあい地域おこし（石狩川河川敷）

・100名の参加でヤマメの放流。ワイワイ焼肉、バーベキューで楽しく盛り上がりました。（道新、あさひかわ新聞、グラフ旭川などに掲載）
・ごみのポイ捨て運動参加。

国際奉仕委員長：竹澤元男委員長

・飢餓の現状と識字率向上に対する勉強会。
・落穂募金運動、第3分区にも呼びかけ6月中旬に予定。

青少年奉仕委員会：佐々木靖文委員長

・今後の取り組みについて示唆したが、いまだ新しい取り組みの方針が定まらない状況です。新しくローターアクトを創設するか、他の団体と合流するか。
・次期委員長にゆだね今後の取り組みの方法を期待します。



